

☆放課後子ども教室☆

あっという間の1学期でした。初々しかった1年生もすっかり放課後教室の活動になじみ、やんちゃな顔をのぞかせ始めています。子どもたちにとっては待ちに待った夏休み。楽しみにしている予定について話を聞く機会も増えました。北海道の短い夏を満喫してほしいと思います（宿題も忘れずに！）

6月前半は雨の日が多く、外で遊べる時間も少なかったですが、6月後半から7月にかけては良いお天気が続き、気温も高い外遊び日和な時間を過ごすことができました。6月のおやつづくりプログラムでは、ヨモギを混ぜた白玉粉を丸めてお団子をつくりました。できあがったお団子にはきな粉をかけていただきます！ふんわりヨモギの香りがしてとても美味しかったです。最後はお皿に残ったきな粉を、隅から隅までペロリと平らげました。口の周りをきな粉だらけにして笑う子どもたちの姿に、おもわず私たちも笑ってしまいました。6月後半のプログラムでは、ほかに大ラクガキ大会や放課後すべしやる運動会を行いました。普段、自由時間に絵を描いて遊ぶ子どもたちの様子を見ていて、大きな紙いっぱい、思う存分、絵を描いて遊べたら楽しいだろうなと思いました。最大10枚の模造紙をつなぎ合わせて開催したラクガキ大会。一人の子が描いた絵に、隣の子が新たなパーツを書き足すなど、遊びの輪が広がっていくところがとても面白かったです。放課後すべしやる運動会では、借り人競争や障害物リレー、パン食い競争ならぬお菓子食い競争などのゲームを競技とし、放課後教室オリジナルの運動会を行いました。中央小の活動日では、この春、新たに社会教育主事として赴任された小田島美雪さんが、プログラムを企画してくれました。勝って喜び、負けて悔しがる姿もありましたが、こうした心の揺れ動きが子どもたちの成長につながっていくと思います。

7月のプログラムでは、五感を使って遊ぶ忍者修行ごっこや、毎年恒例となっている水でっぽう合戦を行いました。忍者修行は、よく見る・聞くチカラを鍛えゲームや、食べられる木の実（クワの実）を探すなどを忍者の修行に見立てています。水鉄砲合戦は夏の恒例行事。夏の日差しの中の水遊びは、とても楽しかったです。



7月9日（土）に放課後特別教室「あつまっ子ふるさと体験教室」を開催しました。とまこまい広域農協青年部、商工会青年部など地域の方にご協力をいただき、開催している特別教室も今年で4年目を迎えました。今年度最初の活動は、昨年の秋に収穫したお米を使った棒巻き米粉パンづくりとハスカップ狩りです。米粉パンは生地から自分たちでつくりました。焼き立てのパンのいい匂い。もちっとしっかりしたパンに仕上がりました。ハスカップ狩りは土居ハスカップ農園さんにお邪魔しました。ハスカップのとり方を土居さんから教わり、自分好みのハスカップ探しに出発！おうちの人へのおみやげにすると喜んで帰っていく姿が微笑ましかったです。7月28日（木）には今年もともいきの里夏祭り（本郷）で子どもたちがつくるお店『あつまっ子カフェ』がオープン予定です。厚真産のお米やハスカップを活用した商品をお届けします。こうした地域の人たちと子どもたちの関わりを、これからもたくさんつくっていききたいと思います。

